

2026 年 1 月 5 日

臨床データ利用のお願い

海南病院では、以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報を研究目的に利用されることをご希望されない場合などお問い合わせがありましたら、お手数ですが以下の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

前立腺がん地域連携パスの運用に関する後方視的研究

2. 研究責任者

海南病院泌尿器科 窪田 裕樹

3. 研究の概要

ロボット支援下前立腺全摘除術は確立された手術方法であり、入院に際してはクリニカルパスが活用されています。退院後の定期通院においても、愛知県統一の地域連携パスが普及し始めており、当院では前立腺癌に対するロボット支援下前立腺全摘除術を施行した患者さんに対し、かかりつけのクリニックで定期的に通院し、年に1回当院に受診する前立腺がん地域連携パスを運用しています。

通常、がん患者の定期フォローは専門医で行われ、非専門医でのフォローは困難とされていますが、前立腺がんは、術後の再発チェックが PSA (prostate-specific antigen) の数値のみで可能であり、明快な基準によって判断できるため、非専門医であってもフォローが容易と考えられています。

そこで、当院の前立腺がん地域連携パスの運用について、臨床データを後方視的に評価し、病期、病理診断、リスク分類、生化学的再発、経過観察の期間、通院の間隔などを検討することで、パスを円滑に運用するための因子を明らかにします。

4. 研究方法

①対象となる患者さん

当院で2017年4月から2026年3月に前立腺癌の手術を受け、術後に地域連携パスを運用している患者さん

②使用する試料等

残余検体：なし

カルテ情報：血液検査の結果（PSAのみ利用します）、手術所見、病理所見、治療の経過等電子カルテに保存されたものおよび連携施設とのやりとりの記録

5. 個人情報の取扱い

貴重な患者さんの個人情報は、「個人情報保護法」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」など各種法令に基づいて管理します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

6. 問い合わせ先・相談窓口

JA 愛知厚生連 海南病院 泌尿器科 窪田 裕樹

電話：0567-65-2511（代表）